



青森農研フラッシュ

研究成果

(地独) 青森県産業技術センター・農林部門

営農環境に応じて 多様な播種床造成方法の選択が可能

－ 水稲V溝乾田直播栽培が、より取り組みやすくなりました －

農林総合研究所

水稲V溝乾田直播栽培とは、乾いた水田に、V字状の溝を作って種もみを直接播いて稲を育てる、省力的な栽培方法です。春作業、秋作業の労働ピークが緩和できるため、労働力不足や高齢化対策に役立つとともに、稲作経営の経費節減、所得向上が期待できます。

このたび、本県の東青、中南、西北、上北の各地域において、地域の土壌や水利条件に相性の良い播種床造成方法で栽培したところ、いずれも実用的な収量性が確認され、営農環境に応じてほ場づくりの方法を選択できることが明らかになりました。

内 容

11月～4月		5月	6月～9月	10月	現地栽培の結果
播種床造成 → 播種 →		栽培管理		→ 収穫	
営農環境に合わせて播種床造成方法を選択	秋雨や融雪水を利用した代かき後に乾燥				場所 田舎館村 品種 まっしぐら 収量 697kg/10a 検査等級 1等
	耕起した後に鎮圧				場所 七戸町 品種 まっしぐら 収量 579kg/10a 検査等級 1等
	浅く耕起				場所 青森市 品種 ほっかりん 収量 600kg/10a 検査等級 1等
	フラ収集後に不耕起のまま				場所 板柳町 品種 まっしぐら 収量 667kg/10a 検査等級 1等

注) 県重点事業「水田農業の革新技術緊急普及事業」の取組事例より

今後の取組み

- ◆ 県、市町村、J A、農機販売店などでは、「水稲V溝乾田直播栽培」に関心の高い生産者を対象とした研修会を開催するなど、栽培技術の周知や情報共有、各地域での技術確立に向けた取組みを始めています。
- ◆ 当研究所では、研究成果移転のフォローアップとしてこれら取組への技術的支援や講師派遣等に随時対応してまいります。



お問い合わせ

農林総合研究所 作物部 (TEL 0172-52-4396)

